

国営かんがい排水事業 笛吹川沿岸地区

ふえふきがわえんがん

事業の概要

本地区は山梨県のほぼ中央に位置し、笛吹川沿岸に展開する甲府市、山梨市、笛吹市、甲州市、中央市、西八代郡市川三郷町の5市1町にまたがる4,145haの果樹を主体とした農業地帯である。

本地区の水源は、山梨県により造成された広瀬ダムであり、本ダムから取水し導水路から左岸・右岸幹線を経由して、ほ場へ配水されている。

本事業は、国営笛吹川土地改良事業（昭和46年度～昭和63年度）により造成された、施設の機能保全対策を実施する。

事業の目的・必要性

本地区の基幹水利施設は、昭和46年度～昭和63年度にかけて整備され、事業完了後20年余りが経過しており、水管理施設や揚水機場の施設機械・電気設備、弁類等が経年劣化により故障が発生しているほか、用水路では土壌中の鋼管が腐食することによる漏水が発生するなど施設の機能低下が進行し、維持管理の負担が増大してきている。

特に、機能診断調査において、用水路における腐食の可能性が約250箇所を確認されており、加えて、本用水路は、農業用水の他に上水道としても通年利用されていることから、早急な対策が必要となっている。

このため、本事業では施設の機能低下がみられるこれらの施設の機能保全対策を実施することにより、施設の長寿命化を図り、もって農業生産の維持及び農業経営の安定に資するものである。

事業の効率性

・総費用総便益比の算定

区 分	算定式	数 値	備 考
総費用(現在価値化)	①＝②＋③	50,898百万円	
当該事業による費用	②	4,092百万円	当該事業費5,300百万円
その他費用	③	46,806百万円	
評価期間(当該事業の工事期間＋40年)	④	50年	工事期間 平成24～33年度
総便益額(現在価値化)	⑤	101,832百万円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	2.00	

(注1) 総費用とは当該地域内において効果を発揮する一連の施設に係る費用であり、評価期間中の施設の資産価額、整備費等である。

(注2) 百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。

(注3) 数値は土地改良法に基づく法手続きを経て確定するため、現時点では暫定値である。

・年効果額（便益額）

本事業の実施により、既存施設の機能が喪失せず、用水の安定供給が確保され、事業を実施しなかった場合と比較して、年間2,613百万円相当の作物生産量の維持、2,067百万円相当の農作物の品質維持、243百万円相当の営農経費の節減、158百万円相当の維持管理に係る経費の増及び6百万円相当の地域用水の維持により、年間4,771百万円相当の事業効果の発現が見込まれ、農業経営の安定が図られる。

作物生産効果	2,613 百万円
品質向上効果	2,067 百万円
営農経費節減効果	243 百万円
維持管理費節減効果	△ 158 百万円
地域用水効果	6 百万円
計	4,771 百万円

日程・手続

平成23年度から、土地改良法に基づく土地改良事業計画概要の公告等手続きが開始される予定である。

事業に対する決議

事業の実施について、平成23年7月21日に開催された笛吹川沿岸地区国営施設機能保全事業推進協議会において県、市町、改良区の了解を得ている。また、平成23年9月16日に開催された土地改良区総代会において受益農家の了解を得ている。なお、平成23年5月23日付けで山梨県知事から関東農政局長あてに要望書が提出されている。

その他

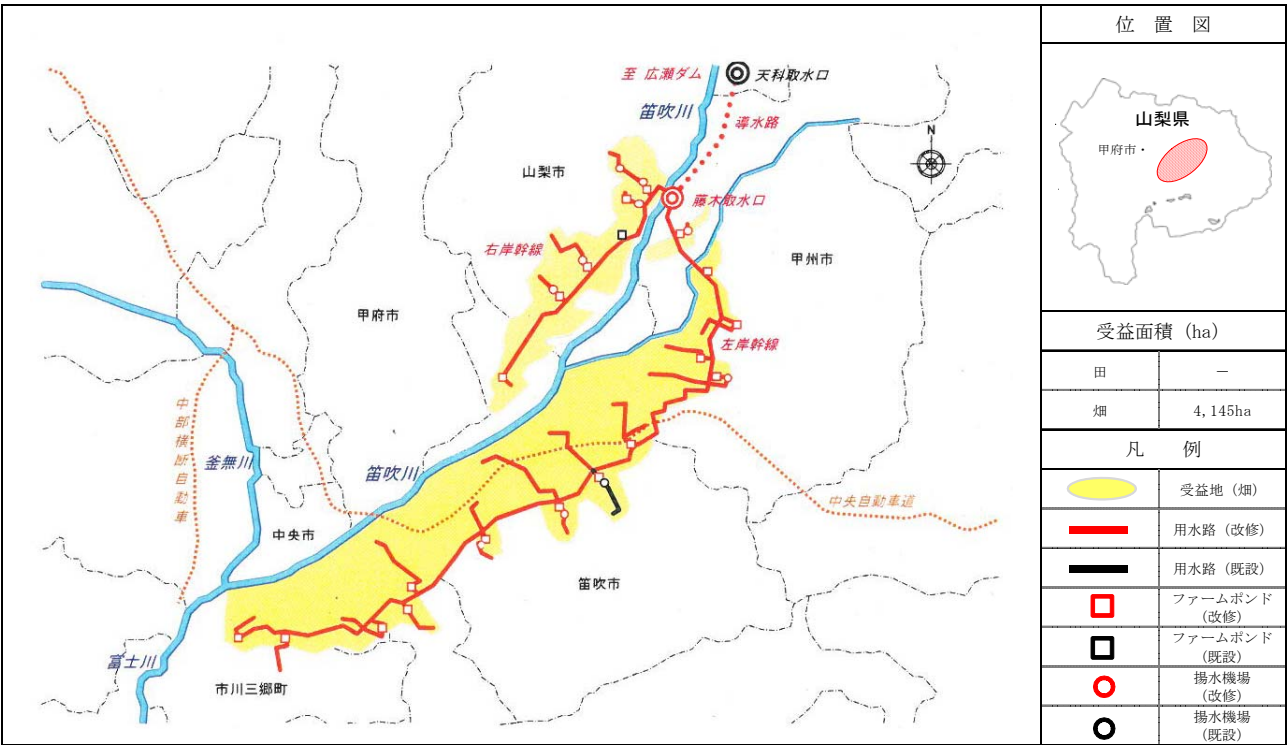
- 事業推進体制
平成23年4月28日に笛吹川沿岸地区国営施設機能保全事業推進協議会を設立し、事業を推進（構成：笛吹川沿岸土地改良区、甲府市、山梨市、笛吹市、甲州市、中央市、市川三郷町、山梨県）
- 維持管理体制
平成23年7月21日に笛吹川沿岸地区国営施設機能保全事業推進協議会において、維持管理体制が合意された。（管理者：笛吹川沿岸土地改良区）
- 営農支援体制
山梨県、甲府市、山梨市、笛吹市、甲州市、中央市、市川三郷町、笛吹市農業委員会、J A フルーツ山梨、J A ふえふき、J A 西八代、笛吹川沿岸土地改良区、農家代表から構成される笛吹川沿岸地区国営施設機能保全事業推進協議会営農検討部会において、営農支援体制を整備。

評価担当部局
農村振興局水資源課

概要図

1. 受益面積	4,145ha		
2. 受益者数	13,184人		
3. 主要工事計画	工 種	数 量	事 業 費
	用水路（改修） 水管理施設（改修）	104.6km 一式	4,660百万円 640百万円
4. 国営総事業費	5,300百万円		

笛吹川沿岸地区 概要図



平成24年度新規地区採択チェックリスト（国営かんがい排水事業）

（局名：関東農政局）（地区名：^{ふえふきがわえんがん}笛吹川沿岸）

1. 必須事項

項 目	評 価 の 内 容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。（必要性）	・ 農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	☐
2. 技術的可能性が確実であること。	・ 地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	☐
3. 事業の効率性が十分見込まれること。（効率性）	・ 当該事業のすべての効用がそのすべての費用を償うこと。	☐
4. 農家負担の可能性が十分であること。（公平性）	・ 当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとはならないこと。	☐
5. 環境との調和に配慮していること。	・ 当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	☐
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・ 事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の（ ）には、主として考えられる観点を記述している。

平成24年度新規地区採択チェックリスト（国営かんがい排水事業）

（局名：関東農政局）（地区名：^{ふえふきがわえんがん}笛吹川沿岸）

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ ○	A
有効性	食料の安定供給の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額（受益面積あたり）	千円/ha・年	1, 150	B
			農業産出額（事業地区市町村の面積当たり）	千円/ha・年	5, 040	A
		野菜・果樹の産地形成	野菜指定産地・果樹濃密生産団地の指定作物の計画作付面積割合（受益面積当たり）	%	92. 1	A
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	認定農業者の割合（総農家当たり）	%	8. 8	A
			経営耕地面積（一戸当たり）	ha/戸	0. 56	A
		農地の確保・有効利用	耕地利用率、作付面積増加率	%	103. 3 0. 0	B
		農業生産基盤の保全・管理	施設の更新等整備の緊急性	—	A	A
			戦略的な保全管理に向けた更新整備計画の作成	—	A	A
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額（受益面積当たり）	千円/ha・年	—	—
		地域用水機能の維持・増進、水資源の有効活用(快適性の向上)	地域用水効果額（受益面積当たり）	千円/ha・年	1. 3	B
	多面的機能の発揮	環境機能の維持・増進	環境関連効果額（受益面積当たり）	千円/ha・年	—	—

【事業の実施環境等】

評 価 項 目			評 価 指 標	単位	評価 結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の 実施環 境等	環境への 配慮	生態系	①地域や事業の特性を考慮した調査・検討 ②環境情報協議会の意見を踏まえた生態系 配慮 ③地域住民の参加や地域住民との合意形成 への取組み ④維持管理、費用負担及びモニタリング体 制等の調整状況	—	a a a —	A
		景観	①地域や事業の特性を考慮した調査・検討 ②環境情報協議会の意見を踏まえた景観配慮 ③地域住民の参加や地域住民との合意形成 への取組み ④維持管理、費用負担及びモニタリング体 制等の調整状況	—	a a a —	A
	関係計画との連携		関係都道府県や市町村の農業振興計画と本 事業の整合性	—	a	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議(予備)(23条)の状況 ②漁協との協議(予備)の状況 ③その他着工前に重要な協議(予備)の状況	—	b — a	B
	関連事業との調整		①事業主体から概略構想(関連事業調書)の 提出 ②共同事業(事業内容、事業費、アロケ等) の事前了解	—	b a	B
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況	—	a a	A
	事業推進体制		①事業推進協議会の設立 ②事業推進協議会から着工要望の提出	—	a a	A
	維持管理体制		①予定管理者の合意 ②維持管理方法と費用負担に関する予定管 理者との合意	—	a a	A
	営農支援体制		営農推進組織等(営農支援体制)の設立状況	—	A	A

平成24年度新規地区採択チェックリスト（国営かんがい排水事業）

（局名：関東農政局）（地区名：ふえふきがわえんがん笛吹川沿岸）

3. 特定監視項目（国営かんがい排水事業）

項 目	評 価 の 内 容	判定
1. 地質状況	・ 地質状況に基づいた施設計画としている。	☐
2. 受益面積	・ 最近年の面積を把握している。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。